

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の進捗状況 及び今後の予定について

1. 平成 15 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催経緯等

15年	6月26日	第1回WG開催
	7月16日	第2回WG開催
	7月30日	第3回WG開催
	8月7日	実証試験要領の公表
	8月7～20日	実証機関の募集
	8月26日	第4回WG開催
	8月29日	実証機関選定の公表
	9月2～25日	実証対象技術の募集 (大阪府)
10月	8～21日	実証対象技術の募集 (広島県)
10月	14～24日	実証対象技術の募集 (石川県)
	10月16日	実証対象技術の選定 (大阪府)
	11月11日	実証対象技術の選定 (広島県、石川県)
16年	3月11日	第5回WG開催

(WG検討員名簿は資料 1 - 2 - 2 参照)

(2) 実証機関と対象技術名

実証機関：石川県

実証対象技術：6 技術の応募があり、以下の 2 技術を選定。

(技術概要は資料 1 - 2 - 3 参照)

- ・ 微生物油脂分解・間欠式全面ばっ気法
(開発者：株式会社ゲイト)
- ・ 微生物油脂分解・生物処理法
(開発者：アムズ株式会社)

実証機関：大阪府

実証対象技術：13 技術の応募があり、以下の 4 技術を実証。

(技術概要は資料 1 - 2 - 4 参照)

- ・ 酵素反応・流動床式接触ばっ気法
（開発者：株式会社水工エンジニアリング）
 - ・ 油脂分解菌付着固定床式接触ばっ気法
（開発者：コンドーFRP株式会社）
 - ・ 複合微生物活用型・トルネード式生物反応システム
（開発者：株式会社バイオレンジャーズ）
 - ・ 凝集反応・電解浮上分離法
（開発者：有限会社リバー製作所）
- 当初、5技術を実証対象技術として選定した。

実証機関：広島県

実証対象技術：7技術の応募があり、以下の2技術を選定。
（技術概要は資料1-2-5参照）

- ・ 浮上油等の自動回収処理システム
（開発者：広和エムテック株式会社）
- ・ 活性汚泥併用接触ばっ気法
（開発者：株式会社アクアメイク）

(3) 実証試験計画

上記(2)の8技術について策定。
（実証試験計画に定めるべき項目を資料1-2-6として添付）

2. これまでの事業の実施にあたっての特記事項

実証対象技術として選定された1技術について、実証試験計画策定時に、申請者が来年度以降の実施を希望したため、実証試験は実施しないこととされた。

実証試験要領では、流量を監視することとしているが、流量に係る適切な測定場所がなかったため、大きな費用負担が生じた。

微生物製剤を用いる技術の実証方法について、次年度以降の検討の必要性が指摘された。

既存のグリーストラップに付帯設備を追加する技術の追加的効果の実証方法について、次年度以降の検討の必要性が指摘された。

3. 今後の予定

実証試験結果報告書を4月に公表する予定。

引き続き、平成16年度も本技術分野を対象技術分野とする予定。

実証機関の公募を4月下旬目途に実施する予定。